

株式会社 甲 商

2023年度 環境経営レポート

(第16号)



環境省
エコアクション21
認証番号0004540

活動期間 (2023年1月1日～2023年12月31日)



Enginring Plastics

発行 ; 2024年4月8日

1 事業概要

(1) 事業所名及び代表者名

株式会社甲商

代表取締役 関口 桂一郎

(2) 所在地

1.本社 埼玉県三郷市大広戸1033-1

2.吉川倉庫 埼玉県吉川市吉屋2-145 (2016年1月から本稼働)

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 製造部 保坂 覚 TEL:048-950-2205 FAX:048-950-2213

担当者 松崎 良太 TEL:048-950-2209 FAX:048-950-2213

(4) 事業内容(認証・登録の範囲)

1. 事業活動 各種プラスチック成形用材料の設計・製造、及びプラスチック応用製品の商品提案、
並びにこれらの販売

2. 対象事業所 本社・工場、吉川倉庫

3. 認証登録日 2021年6月30日

4. 認証登録番号 0004540

(5) 会社概要及び事業規模

①設立年月日:昭和39年5月8日

②資本金:6,206万円

③売上高:13.68億円(2022年度)

	本社	吉川倉庫
従業員	36名	
延べ床面積	1461㎡	886㎡
敷地面積	1887㎡	1486㎡

(6) 事業年度 1月～12月

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2017(基準年度)	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素排出量 (対象:エネルギー総量)	kg-CO ₂ /年	426,768	461,636	437,989	409,209
廃棄物排出量	トン/年	33	84	67	66
一般廃棄物量排出量	トン/年	1	1	1	1
産業廃棄物排出量合計	トン/年	31	85	68	67
総排水量	㎡/年	3,213	2,844	2,862	2,726

環境経営方針

株式会社 甲 商

<基本理念>

環境問題に関しては、グローバルな関心と取組みが近年大きくクローズアップされている中で、当社はプラスチックリサイクルを業界でも先駆け的に事業展開を進めてまいりました。

今後も全社一丸となり、プラスチックの再生事業を進めていき、環境マネジメントシステムを構築し見直しを進め、地球環境、社会経済に貢献するプラスチックリサイクルのリーディングカンパニーを目指して、企業活動を進めてまいります。

<環境保全への行動指針>

1. 地球温暖化防止の為、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
2. リサイクルの徹底を図り、廃棄物の削減に努めます。
3. 水資源を効果的に使用し、節水に努め総排水量の低減に努めます。
4. 化学物質使用量の適正管理に努めます。
5. エコマーク商品購入の推進に努めます。
6. 環境対応商品(リサイクル材を使用した部材)の設計・製造及び活用の提案・販売をいたします。
7. 環境関連の法律、条令、及びその他の要求事項を遵守します。
8. 定期的に環境マネジメントレビューを実施し、環境管理システムを継続的に改善してまいります。
9. 当環境方針を全従業員に周知徹底し、お客様・地域住民の方々、その他一般の方に公開します。

制定日：2008年12月5日

改定日：2021年1月25日



株式会社 甲 商

代表取締役 関口 桂一郎

3-1 環境経営目標の実績と達成状況の評価

環境対応商品の加工生産量、及び二酸化炭素削減値

外部委託していた営業倉庫、輸出入業務を一元管理することになり、2016年1月より吉川倉庫は本稼働しました。
環境負荷データは本社と吉川倉庫を個別に管理しますが、環境目標は吉川倉庫を含めた数値で評価を行います。
環境項目は「電力」、「燃料」、「水道」、「環境関連の法律・条令の遵守」が該当します。

評価は原単位(製品1000kg加工に対しての使用量)に対しての達成率

項目	年度	基準年度		2022年		2023年		中長期目標				
		2019年		実績	実績	目標	実績	2024年	2025年	2026年		
		実績									目標	実績
年間生産量		1,606,590		1,428,472		1,414,187		1,428,472		1,407,045	1,399,903	1,392,760
1	電力の使用量削減(kWh)	電力使用量	911,507	891,555	902,392	917,886	897,834	893,277	888,719			
		1000kgあたり	567	624	561.68	643	559	556	553			
		達成率	100%	110% △	99.0%	113% ×	98.5%	98.0%	97.5%			
	燃料の使用量削減(ガソリン・軽油・灯油)(L)	燃料使用量	15,187	16,715	15,035	16,650	14,959	14,883	14,807			
		1000kgあたり	9.5	11.7	9.36	11.7	9.31	9.26	9.22			
		達成率	100%	124% ×	99.0%	123% ×	98.5%	98.0%	97.5%			
二酸化炭素排出量合計(排出係数東電 0.441に2025年まで固定)	kg-CO2	463,669	437,989	459,032	409,209	456,714	454,396	452,077				
	1000kgあたり	289	307	285.72	286	284	283	281				
	達成率	100%	106% △	99.0%	99% ○	98.5%	98.0%	97.5%				
2	廃棄物(産業廃棄物)の削減	(Kg/年)	39,900	67,360	39,501	66,465	39,302	39,102	38,903			
		1000kgあたり	24.84	47.16	24.59	46.53	24.46	24.34	24.21			
		達成率	100%	190% ×	99.0%	187% ×	98.5%	98.0%	97.5%			
	廃棄物(一般廃棄物)の削減	(Kg/年)	936	1,144	927	863	922	917	913			
		1000kgあたり	5.83	8.01	5.77	6.04	5.74	5.71	5.68			
		達成率	100%	137% ×	99.0%	104% ○	98.5%	98.0%	97.5%			
3	水道水の削減	(m ³ /年)	694	501	687	419	684	680	677			
		1000kgあたり	0.43	0.35	0.43	0.29	0.425	0.423	0.421			
		達成率	100%	81% ○	99.0%	68% ○	98.5%	98.0%	97.5%			
4	化学物質の適正使用・管理(2010年より使用)	使用量(L)	0.04	0.04	適正使用	0.04	適正使用	適正使用	適正使用			
5	エコマーク商品購入	(円)	179,942	206,180	181,741	206,180	182,641	183,541	184,441			
		評価	100%	115% ○	101.0%	115% ○	101.5%	102.0%	102.5%			
6	環境対応商品の設計・製造・提案・販売	(Kg)	1,269,150	1,110,640	1,281,842	1,110,640	1,288,187	1,294,533	1,300,879			
		評価	100%	88% ×	101.0%	88% ×	101.5%	102.0%	102.5%			
7	環境関連の法律・条令の遵守	年1回法令等の見直し	変更なし	変更なし	年1回法令等の見直し	変更なし	年1回法令等の見直し	年1回法令等の見直し	年1回法令等の見直し			
8	環境マネジメントレビューの実施、環境管理システムの改善	年間11回	達成	達成	1月～11月(11回)	達成	1月～11月(11回)	1月～11月(11回)	1月～11月(11回)			
9	環境方針を全従業員に徹底 お客様・地域住民の方々・一般の方に公開する	年2回全体会議年1回地域清掃	達成	達成	年2回全体会議年1回地域清掃	達成	年2回全体会議年1回地域清掃	年2回全体会議年1回地域清掃	年2回全体会議年1回地域清掃			

※二酸化炭素排出係数は東京電力エネルギーパートナー(2017年度0.462kg-CO2・調整前)をすべての年度に適用し再計算した。

※達成率は2017年度の原単位数値に対する評価

※削減目標に対する評価について(5%以内増減は○、10%以内は△、10%以上の未達成は×とする)

ただし、×評価であっても、理由があり説明出来るものは△、10%以上の増加は目標値設定ミスではあるが良成果とし○とする。

3-2 環境経営目標の実績と達成状況の評価

リサイクル材を使用した再生品加工量とCO2の削減は比例しています。

再生品加工量の増加は我が社の基本理念とも一致し、さらにCO2の削減にも大きく貢献します。

環境対応商品(リサイクル材を使用した部材)の設計・製造及び活用の提案・販売を推進します。

単位 = t

環境対応商品	2019年 基準年度	2022年	2023年				中長期目標		
			目標(数値)	実績	達成率	CO2削減値	2024年	2025年	2026年
1月	121.3	77.1	122.5	113.5	93%	25.4	122.5	139.5	123.7
2月	133.6	82.8	134.9	119.9	89%	26.9	134.9	153.6	136.2
3月	105.5	104.2	106.5	135.7	127%	30.4	106.5	121.3	107.6
4月	118.8	77.6	119.9	92.8	77%	20.8	119.9	136.6	121.1
5月	67.0	81.2	67.6	111.5	165%	25.0	67.6	77.0	68.3
6月	73.8	89.0	74.6	87.1	117%	19.5	74.6	84.9	75.3
7月	82.8	75.7	83.6	102.3	122%	22.9	83.6	95.2	84.5
8月	84.9	60.5	85.8	69.0	80%	15.5	85.8	97.7	86.6
9月	103.6	85.7	104.7	95.7	91%	21.4	104.7	119.2	105.7
10月	126.6	129.9	127.8	104.9	82%	23.5	127.8	145.6	129.1
11月	117.3	111.0	118.4	107.1	90%	24.0	118.4	134.9	119.6
12月	134.0	136.1	135.3	100.7	74%	22.5	135.3	154.1	136.7
合計	1,269.1	1,110.6	1,281.8	1,240.2	97%	277.8	1,281.8	1,459.5	1,294.5

環境対応商品の加工量は顧客ニーズにより月別での比較は出来ないが、年間合計数量で目標の達成を目指している。稼働日数による増減は考慮しない。環境対応商品の生産量の年間生産量に対する割合は77%になります。

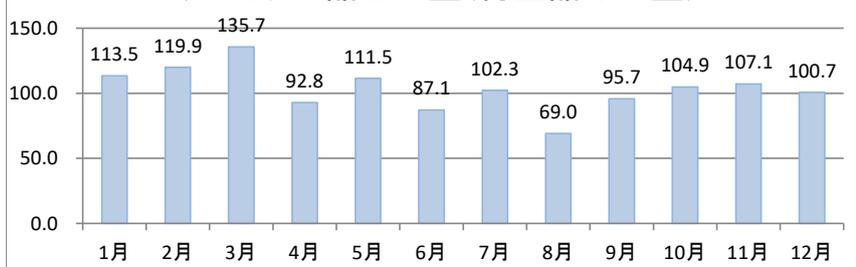
エコリーフ環境ラベル商品

製品名	成形用原料	登録番号	換算値
PA6 R 6G30	ポリアミド6(70%) ガラス(30%)	CJ-12-004	0.197
PA66 G30	ポリアミド66(70%) ガラス(30%)	CJ-12-001	0.224
PBT R	PBT	CJ-12-005	0.265

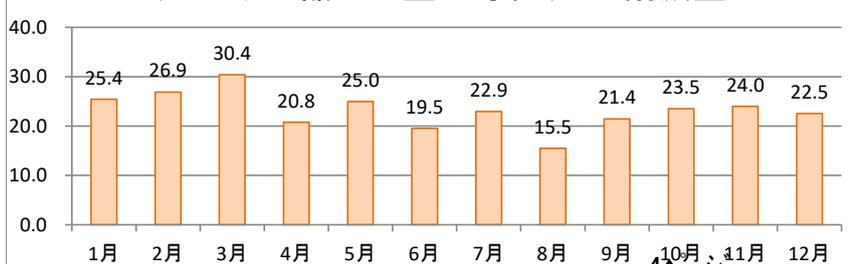
※二酸化炭素換算計数・・・エコリーフ申請資料より素材製造時に対する換算値

※リサイクル量・・・再生品の販売数量(お客様の環境負荷を低減する意)

リサイクル品加工量(再生品加工量)



CO2量(t) リサイクル品加工量に対するCO2削減量



登録証
エコリーフ環境ラベル

ECO LEAF
製品環境情報

社名 株式会社甲商
製品名 マテリアルリサイクルによって製造される軽可塑性樹脂 pellets
型番 ポリアミド66 G30 (PA66 G30)
登録番号 CJ-12-001
登録有効期限 2013年1月末日

2012年1月5日

社団法人 産業環境管理協会
Japan Environmental Management Association Industry

会長 南直哉
Chairman Nobuya Mianai

製品環境情報
Product Environmental Aspects Declaration

ECO LEAF
製品環境情報

マテリアルリサイクルによって製造された軽可塑性樹脂 pellets
(適用PCR番号: CJ-02) No. CJ-12-001
登録日: 2013年1月5日

株式会社 甲商
〒344-0022
埼玉県三郷市大広野1033-1
TEL048-950-2205 FAX048-950-2213
URL http://www.kikoyo.co.jp/

成形用原料: ポリアミド66 G30 (PA66 G30)
主成分: ポリリサイクル(60%) ガラス(30%)
リサイクル率: 100%
主な用途: 工業用途
リサイクル原料の取扱場所: 南郷回収
回収品由来: プレコシユーム品 または
単一ポストコンシューマ品
(表中はすべて製品1kg当たりの数値です)

項目	値
環境負荷削減率	100%
リサイクル率	100%
CO2削減率	100%

※1) 再生品1kg、製品環境情報シートに記載の製品単位(1kg)に換算しています。
※2) 再生品1kgの削減量(製品単位)は、製品単位の削減率(%)に換算されています。
※3) 再生品1kg削減量は、削減率100%とする前提での削減率(%)に換算されています。
※4) 本製品の削減率(%)は、削減率100%とする前提での削減率(%)に換算されています。

各ステージの削減率(%)、削減率(t)

削減率(%)	削減率(t)
100%	100%
100%	100%
100%	100%
100%	100%
100%	100%
100%	100%
100%	100%
100%	100%
100%	100%
100%	100%
100%	100%
100%	100%

【その他環境情報】
本製品はエコアクション21認証工場にてISO9000品質管理の下で生産されております。

PCRの削減率(%)は2019年12月12日現在、公表されています。削減率(%)は公表されていません。
製品の削減率(%)は、削減率100%とする前提での削減率(%)に換算されています。
削減率(%)は、削減率100%とする前提での削減率(%)に換算されています。
削減率(%)は、削減率100%とする前提での削減率(%)に換算されています。

4 事務用品費グリーン商品購入比率

グリーン商品購入金額

(金額:円)

	2019年 基準年度		2023年 実績	達成率	
2023年1月	8,428		8,000	95%	
2023年2月	21,531		40,945	190%	
2023年3月	12,370		14,653	118%	
2023年4月	19,315		40,006	207%	
2023年5月	11,348		10,913	96%	
2023年6月	7,497		18,487	247%	
2023年7月	19,441		16,797	86%	
2023年8月	14,851		12,257	83%	
2023年9月	10,392		6,945	67%	
2023年10月	22,521		11,062	49%	
2023年11月	21,281		19,888	93%	
2023年12月	10,967		17,825	163%	
合計	179,942		217,778	121%	

※ 通販でエコマーク購入(領収書で集計)の比率

太陽光発電システムの導入

太陽光発電システムの導入は、社内使用ではなく売電を目的としたものです。しかし、発電詳細データの記録や発電状況表示モニターを設置したとにより、発電の仕組み、電気の有り難さを実感することが出来ました。

2013年5月29日より発電開始。

	1日平均(Kw)	1月平均(Kw)	1年間 (Kw)	売電金額(円)
2022年(1月~12月)				
予想発電量(導入前)	125	3,814	45,771	1,830,840
実発電量	279	8,496	50,974	1,149,192

kw	月別発電量											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2018年	3,392	3,706	3,957	5,325	6,874	4,949	6,923	5,793	4,559	3,213	3,284	2,495
2019年	3,566	3,278	4,508	5,299	5,299	6,058	3,779	6,026	4,352	4,045	3,436	1,970
2020年	2,972	3,544	4,425	4,696	5,876	5,848	3,643	5,426	5,058	2,643	3,044	1,891
2021年	2,228	3,637	5,101	5,582	5,471	5,431	4,303	5,837	3,865	3,452	3,637	2,743
2022年	3,073	3,397	5,044	4,019	5,108	5,477	4,553	5,977	4,615	3,447	3,829	2,435
2023年	3,047	3,492	3,498	3,474	5,141	5,340	5,918	6,641	5,627	3,785	3,864	2,986



5 教育・訓練の実施

毎年7月と12月に社員全員で全体会議を行い、各部門の活動報告やエコアクション21の活動報告・問題点の指摘や5S活動優秀者の表彰を行っています。

エコアクション21委員は2年毎に交代し、全社員が参加し勉強するシステムになっています。

毎年3、4名が防災体験学習施設(千葉県西部防災センター)で学習しています。体験報告書の提出と避難・火災訓練時に消火の実践を行っています。

別紙参照

主な環境活動の取り組み

5月の第2土曜日は地域清掃活動として、社屋周りの道路、歩道の清掃や草刈りを行っています。7月に避難・消火訓練を実施しています

2013年5月29日より発電開始



エアコンにルーフファン設置



工場・倉庫にLEDライト設置



社内掲示板で問題点指摘



エコキャップ運動に参加



敷地内の緑化運動



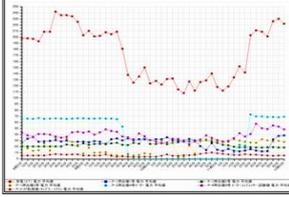
避難・消火訓練実施(年1回)



地域清掃活動(年1回)



防災センターで訓練参加



2012年7月9日より社内使用電力はデマンドコントロールの導入により、管理され無駄な使用を抑えています。

6 環境経営計画の取組結果と実施状況評価及び次年度の取組内容

評価は原単位（製品1000kg加工に対しての使用量）

環境経営方針	環境経営目標		環境経営計画	評価		見直し	
	項目	目標(達成率)		実績(達成率)	結果	課題	次年度取組み
1. 地球温暖化防止の為、二酸化炭素排出量の削減に努めます。	電力の削減 2019年 567.56kwh	2019年度比 99% 561.88kwh	①ムダ乾燥の削減・昇温時間短縮 ②照明水銀灯カット、LED変更、小まめな消灯 ③給湯器、電気ポット管理 ④エアコン温度管理	110% 624kwh	△	再生品の品質向上のために、乾燥工程が増加した。そのため乾燥機の使用も増加した。また、12月に乾燥機を追加で一台設置した。	乾燥機を追加し、再生品の生産量を増やしている中、電力の削減は難しい。ただ、取組み計画の実施を徹底していくことで、電力の消費を抑える努力はしていく。
	燃料の削減 (ガソリン・軽油・灯油) 2019年 9.5L	2019年度比 99% 9.4L	①エコドライブ運動 ②アイドリングストップ ③急加速の抑制 ④冷房の控えめ使用 ⑤全車をエコカーに変更	123% 11.7L	△	営業部員が一人増え、稼働している営業車が一台増えた。	継続
	二酸化炭素 排出量合計 2019年 289kg-CO2	2019年度比 99% 286kg-CO2		106% 307kg-CO2	△		製造過程以外の削減に取り組む。また、再生品の生産量を増やすことで総合的な削減を図る。
2. リサイクルの徹底を図り、廃棄物の削減に努めます。	産業廃棄物削減 2019年 24.84kg	2019年度比 99% 21.82kg	①工程ロスの削減 ②簡易方法の検討 ③分別の徹底 ④有価物化	190% 47.16kg	×	加工量、加工種類に影響されるため比較が難しいが、生産量は増加している。	継続
	一般廃棄物削減 2019年 5.83kg	2019年度比 99% 3.59kg	①コピー用紙、ダンボール等の分別を徹底する。 ②再利用(緩衝材)	137% 8.01kg	×	倉庫内にある資料を大量に処分した。	再利用の推進を継続
3. 水資源を効果的に使用し、節水に努め総排水量の低減に努めます。	節水 2019年 0.43L	2019年度比 99% 0.56L	①節水呼びかけを社内掲示 ②冷却用水道水循環で削減 ③真空ポンプ冷却水→循環水に切替えマイナス3L/min ④循環システム点検(漏水等)	81% 0.35L	○		
4. 化学物質使用量の適正管理に努めます。	化学物質の適正 使用・管理 2019年 0.04	適正使用 適正管理	SDSを基に適正使用、適正管理の徹底	適正使用 適正管理 (0.04L)	○		適正使用 適正管理
5. エコマーク商品購入の推進に努めます。	エコマーク商品 購入 2019年 179,942円	2019年度比 101% 198,732円	エコマーク商品購入の推進	115% 206,180円	○		エコマーク商品の購入に努める。
6. 環境対応商品(リサイクル材を使用した部材)の設計・製造及び活用の提案・販売	開発及び活用 2017年 再生品加工量 1,082,052 kg	2017年度比 101% 1086,406kg	リサイクル材を使用した部材の加工量増加を目指す	103% 1,110,640 kg	○		リサイクル材を使用した加工の提案を、継続して行う。
7. 環境関連の法律、条令、及びその他の要求事項を遵守します。	要求事項の遵守 年1回の法令等の見直し	年1回の法令等の見直し	該当項目の見直しと確認手段として、公官庁への問い合わせ、インターネットでの調査	2022年3月 実施	○		継続
8. 定期的に環境マネジメントレビューを実施し、環境管理システムを継続的改善に取り組みます。	環境マネジメント レビュー 年11回(1月～11月)の環境マネジメントレビューの実施	達成	月1回の社内パトロール(全社員ローテーション)とエコアクション会議(エコアクション委員)を行い、経営会議に報告	達成	○		継続
9. 当環境方針を全従業員に周知徹底し、お客様・地域住民の方々、その他一般の方々に公開します。	環境方針の周知 徹底、公開 ・年2回(7月、12月)の全体会議での社員教育、活動報告 ・年1回の地域清掃活動(社屋外)	達成	①年2回の全体会議でエコアクション21の教育、活動報告を行う。 ②社内回覧で会議の内容を報告。 ③年1回の地域清掃活動(社屋外)	達成	○		継続

※削減目標に対する評価について(5%以内増減は○、10%以内は△、10%以上の未達成は×とする)。×評価であっても理由があるものは△とする。

7 環境関連法規制等の遵守状況

当社の遵守しなければならない環境関連法規として、「廃棄物処理法」等があります。
 これらの法律の遵守状況を定期的にチェックしました結果、法規制違反が無いことを確認しました。
 尚過去3年間、行政機関からの処罰等は受けたことは一切ございません。
 また、近隣住民の方等からの訴訟等も一切ございません。

8 記録の取り扱いについて

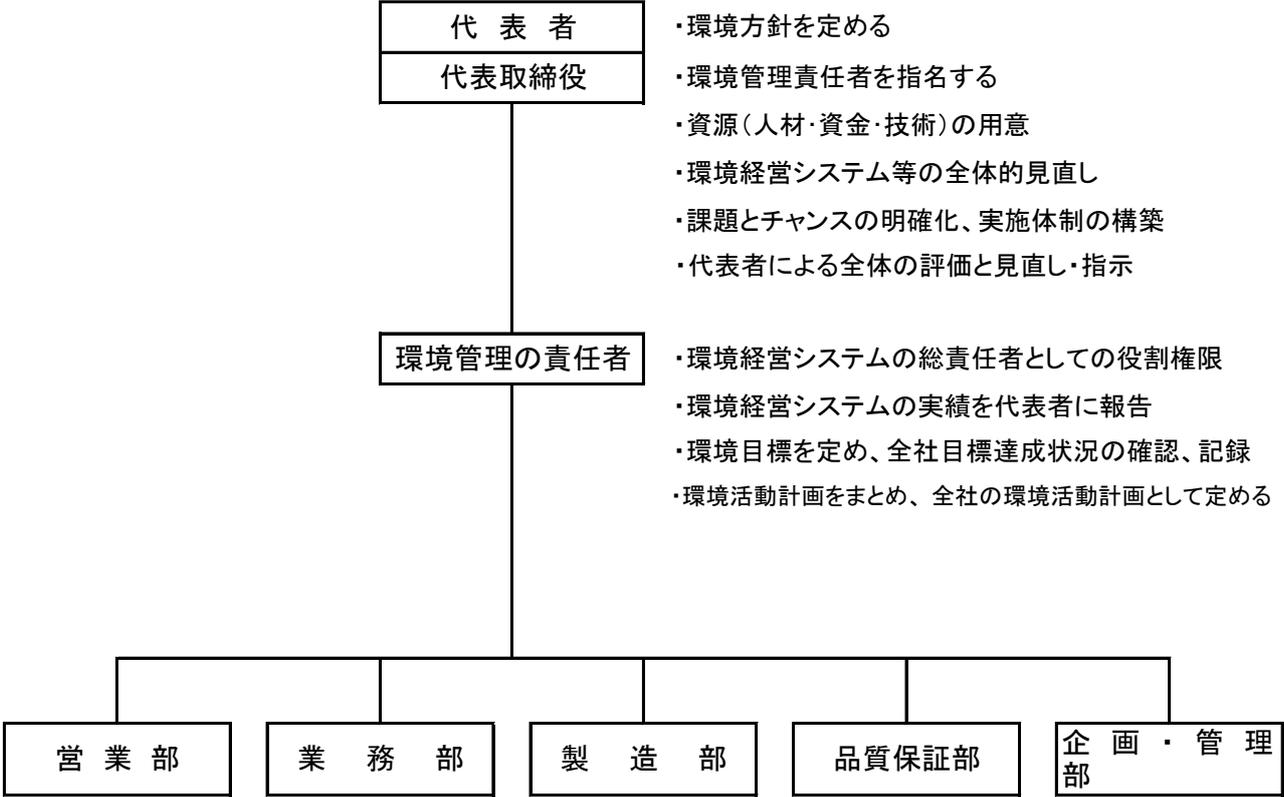
記録は環境管理責任者が3年間保管し、保管期間が過ぎたものは環境管理責任者が処分 します。

9 代表者による全体の評価と見直し・指示

インプット情報	情報内容・資料等	社長コメント
①環境関連法規制等一覧表 遵守状況のチェック結果	事業活動に関連する環境関連法規を一覧表にとりまとめ、順守状況を確認した。	引き続き、環境関連法規の遵守を行うこと。又、最新の環境関連法規の確認も行うこと。
②環境目標の達成度	1年間を通しての活動は概ね目標を達成した。個別項目で基準年度の見直しが必要である。	引き続き、環境活動計画に従って実施すること。項目による基準年度の変更は次年度より実施してください。
③環境活動計画の実施状況	環境活動計画の実施は計画に従って行った。	引き続き、環境活動計画に従って実施すること。
④問題点の是正・予防処置の状況	活動期間で是正処置・予防処置が必要な事態はなかった。	引き続き、是正処置・予防処置の発生がないようにしてください。
⑤外部からの苦情の有無	活動期間で外部からの苦情はなかった。	引き続き、外部からの苦情等がないように取り組んでください。
⑥緊急事態の訓練結果	年1回の避難訓練と防災センターでの体験教育(3、4名)の実施。積極的な参加で効果が上がった。	引き続き、教育計画に従って実施してください。
⑦経営状況の変更	活動期間で変化はない。	特になし。
⑧その他	特になし。	

変更の必要性の有無	①環境方針	変更の必要はない。
	②環境目標	変更の必要はない。
	③環境活動計画	変更の必要はない。
	④環境経営システム	変更の必要はない。

エコアクション21 実施体制図



・全社員
部門及び、グループ環境活動計画の実施

環境法令等一覧表・遵法性評価チェックシート

環境管理担当者

保坂 寛

作成日 2024年3月22日確認

No	適用年月	適用対象の 作業・施策/ 環境	適用部門	法令等 名称	適用内容の区分						評価内容	評価結果(遵法の場合も根拠を明示)	評価 年月日	遵法性 ○△×	規則改訂確認 2022/3/17
					許可/届出	維持管理/測定	報告	資格者	その他	担当者					
1	2005.9.6	工場設置	本社	公害防止条例 三郷市公害防止条例 第7条	○	社屋工場の設計図と生産工程表を作成し、 行政へ提出	○			松崎良太		2005年9月5日、三郷市役所環境保全課届出を受理	09.1.5	○	改訂なし
2	2005.9.16	ペレタイザー 4台	製造部	騒音規正法 埼玉県生活環境保全 条例第52条第2項	○	新社屋設立時に騒音防止と臭気対策を練り こんだ公害対策書を作成	○			松崎良太		2005年9月12日、三郷市役所環境保全課届出済み	09.1.5	○	改訂なし
												2005年9月16日、三郷市役所環境保全課届出を受理			
3	2005.2.22	下水道	本社	下水道法 三郷市下水道条例	○	開発行為・建設行為事前協議申請書により 三郷市へ申請	○			松崎良太		2005年1月21日三郷市役所受付 2005年2月22日三郷市協議確認	09.1.5	○	改訂なし
4	2005.2.22	生活廃水	本社	浄化槽法 三郷市建築基準法施行 細則代4号の第4条 の3項	○	定期的清掃は島村興産に委託 浄化槽法第11条検査実施2022/7/1 合格				松崎良太		2005年1月21日三郷市役所受付 2005年2月22日三郷市協議確認	09.1.5	○	改訂なし
5	2005.11.16	地下水汲み 上げ	本社	埼玉県生活環境保全 条例第96条第2項	○	地下水採取量報告書を埼玉県知事へ毎年 報告	○			松崎良太		2005年11月16日埼玉県より使用許可 毎年、埼玉県知事宛に報告書提出	09.1.5	○	改訂なし
6	2014.2.17	焼却炉	本社	大気汚染防止法 埼玉県生活環境保全 条例第52条第1項	○	指定ばい煙発生施設設置届書を提出	○			松崎良太		2014年1月17日埼玉県東部環境管理事務所に届出提出 2014年2月17日同上届出書受理通知書を受領	09.1.5	○	改訂なし
7	2005.10.14	一般廃棄物	本社	廃棄物処理法 三郷市条例第35条	○	三郷市が指定した業者島村興産に委託				松崎良太		2005年10月14日事業系一般廃棄物収集運搬処理契約書を締 結 現在も委託中	09.1.5	○	改訂なし
8	2003.1.31	産業廃棄物	本社	廃棄物処理法 三郷市条例第35条	○	三郷市が指定した業者(有)コウワに委託				松崎良太		マニフェスト伝票を保管 現在も委託中 (有)コウワが㈱キョーエイストックに吸収 2018/3	09.1.5	○	改訂なし
9	2005.10.5	消防用設備 等検査結果 書	本社	消防法17条	○	消防用設備が消防法17条の基準に適合して いる	○			松崎良太		2005年11月7日三郷市消防本部職員立会いで届出	09.1.5	○	改訂なし
10	2015.9.16	生活廃水	吉川倉庫	浄化槽法 吉川市浄化槽法10条 2第3項	○	定期的清掃は進生クリーン興業㈱に委託				松崎良太		2015年9月16日吉川市役所へ変更届	15.9.16	○	改訂なし
11	2015.4.1	フロン使用関 連設備	本社	フロン排出抑制法		(有)長谷川電気へ委託(本社業務用エアコ ン) 吉川倉庫は該当しない				松崎良太		2017年3月25日定期点検済み	17.3.25	○	改訂なし
12	2016.6.20	リサイクル材	本社	資源有効利用推進法		対象業種・対象製品の確認				松崎良太		対象業種・対象製品に該当なし	16.6.20	○	改訂なし

評価結果 ○:遵法である △:一部の疑問があり遵法であるが評価することが難しい(判断するための調査を行う) ×:明らかに遵法性に欠けている(不適合扱いとして是正を行う)

災害対策体制図

代表者 (承認)	環境管理 責任者 (作成)
関口	保坂
2023/7/19	2023/7/18

災害対策本部

本部長
関口社長

指揮・情報連絡班

企画管理部
班長: 菊池
副班長: 松崎

初期消火班

火元発見者
1F: アソワン
2F: カチワダ

避難誘導班

1F: 保坂
2F: 常時者(山崎)

救出班 柴山

救護班
営業事務

警戒班

班長: 内田
副班長: 坂本

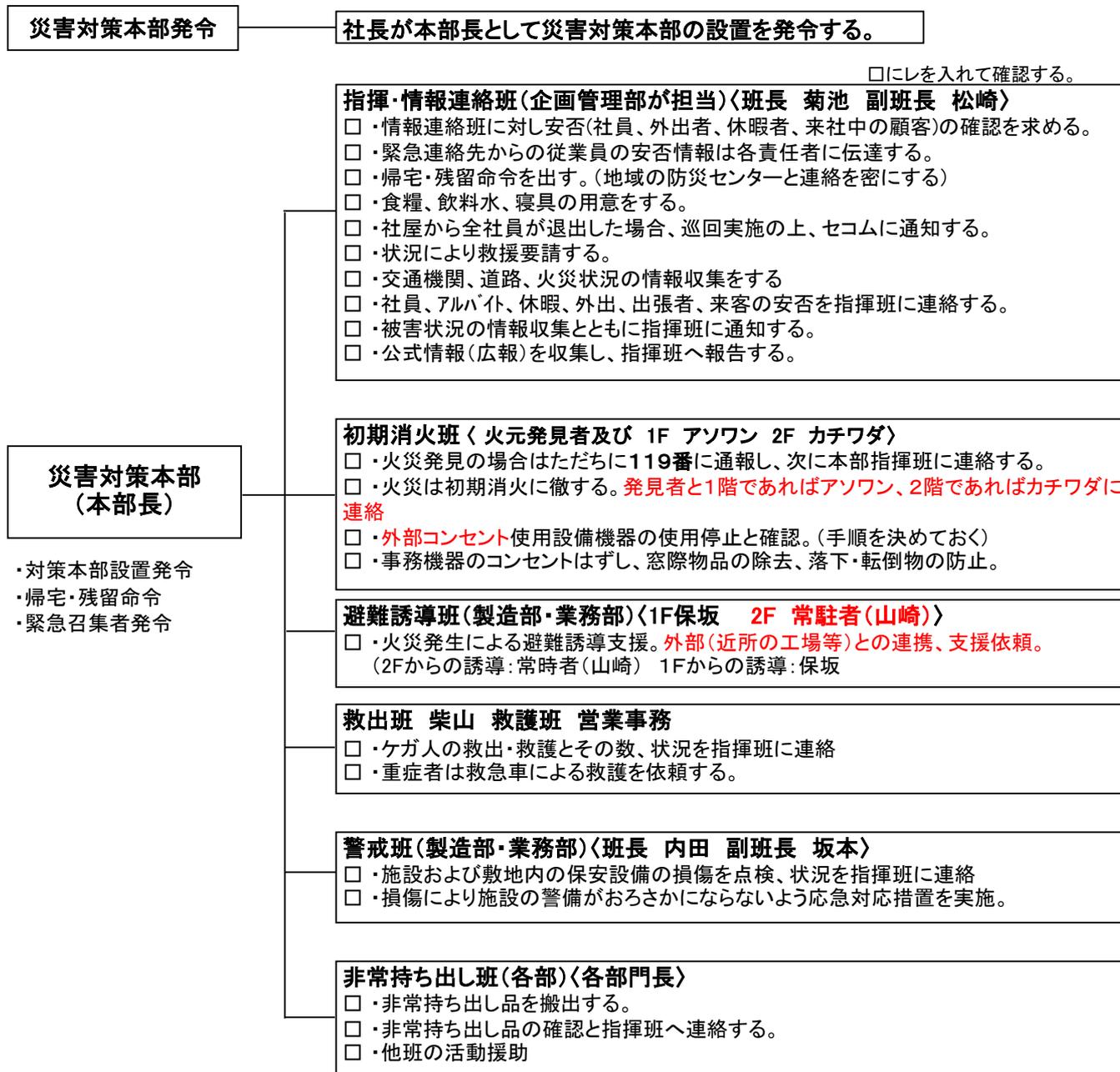
非常持出班

各部
班長: 各部門長

甲商防災マニュアル

代表者 (承認)	環境管理 責任者 (作成)
関口	保坂
2023/7/19	2023/7/18

災害対策本部設置の場合のマニュアル例(事業所勤務中)



【お願い】

- ・各班の役割分担を部署ごとに決めてください。(別紙)
各部署で選出されたメンバーで協力して作業してください。
役割分担で選出された人だけが作業をするものではありません。
あくまでも率先して責任をもって行動するための分担です。
選出されていない社員も、手が空いている人はヘルプに回ってください。
- ・部署ごとに選出されたメンバーは班ごとに定期的に打ち合わせを行ってください。(詳細別途)

<改訂記録>

版	改定日	改訂内容・改訂理由
	2014/6/24	本部長の役割分担が重複していた
	2021/9/30	配属変更による変更反映

教育・訓練計画

甲商ではエコアクション21の理解を深めるため、全社員が年間を通して活動を行っています。

- 1 毎年7月と12月に社員全員で全体会議を行い、各部門の活動報告やエコアクション21の活動報告・問題点の指摘や5S活動優秀者の表彰を行っています。
- 2 安全や健康面を重視した標語を募集して社員の意識を高める活動を年1回行っています。
- 3 エコアクション21委員は2年毎に交代し、全社員が参加し勉強するシステムになっています。
- 4 毎年3、4名が防災体験学習施設(千葉県西部防災センター)で学習しています。体験報告書の提出と避難・火災訓練時に消火の実践を行っています。
- 5 月1回エコアクション21・安全パトロール(3名)で社内を巡回し問題点を報告する
全社員が年1回は担当して屋内外の注意点などを確認する
- 6 月1回エコアクション21・安全パトロール会議(委員5名)で提示された問題点論議し、改善を要する議案は各部署の会議に持ち帰り、改善策を次回会議で報告する。
- 7 年1回社屋周りの清掃活動(地域貢献)
- 8 再生プラスチックの講習 全社員に再生の意義や価値を共有し 再生品を増加することでCO2を減となることを周知する

2023年度スケジュール

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備考
1													全社員参加
2													2年に1回
3													2年毎に交代
4													各部署代表
5													通年
6													通年
7													11月第1土曜日
8													12月全体会議